

ポストモダニティの条件

第1週目発表班プレジデュメ

木村・田島・宇山・笠原・千葉

私達はこれから『ポストモダニティの条件』を取り上げていくわけですが、今回第一班が取り上げる第一章、第二章では、ポストモダニズムの先駆けとして展開されたモダニティとモダニズムについて扱われています。

モダニズムの意味それ自体も未だ明確ではなく議論の対象となっているようですが、モダニズムから離脱したと考えられるポストモダニズムを語るにあたり、より明確な物として捉える為には、そもそもモダニズムがどのようなものであったかを理解しなくてはなりません。複雑で混乱したものとして認識されているモダニズムとポストモダニズムですが、4回の発表を通して少しでも自分たちなりに理解し、議論・考察していきたいと思えます。

【用語説明】

<啓蒙思想>

宗教的権威に反対して人間的・合理的思惟の自律を唱え、正しい立法と教育を通じて人間生活の進歩・改善、幸福の増進を行う事が可能であると信じ、宗教・政治・社会・教育・経済・法律の各般にわたって旧慣を改め新秩序を建設しようとした。

<ロマン主義>

古典主義・合理主義に反し、感情・個性・自由などを尊重、自然との一体感、神秘的な体験や無限なものへのあこがれを表現した。

<ユートピア>

ユートピアは現実には決して存在しない理想的な社会として描かれ、その意図は現実の社会と対峙させることによって、現実への批判をおこなうこと。

<創造的破壊>

新しい世界が創造されるための破壊。

資本主義的発展における進歩主義の根底をなす思想から生まれたもの。

*『近代』のキーワード

- ・ 自由の理念
- ・ 国民国家
- ・ 資本主義経済
- ・ 美学の探求

上記にあげた語句やキーワードが出てくる箇所を重点的に読んでください。
難しいとは思いますが最低でも2回は読んでいただけたら理解度もかわってくる
と思いますし、議論も活性化すると思うのでよろしくお願いします。